

市民病院だより

ノロウイルス

感染対策委員会

季節もすっかりと肌寒くなり、まもなく冬を迎える時期となりました。今月のテーマはこの時期に流行しやすいノロウイルスについて、小城市市民病院感染対策委員会よりお話しします。

やすく、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡するという事例もあります。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年を通して発生していますが、特に冬季（11月～2月）に流行しています。

ノロウイルスとは

ノロウイルスは大きさ約30ナノメートルでウイルスの世界でも小さい部類に属します。

主にノロウイルスに汚染された二枚貝（カキなど）を、人間が食べることで、腸の中でノロウイルスが増殖し、症状を引き起こします。また感染力がとても強く、少量のウイルスで感染が成立してしまつのも特徴の一つです。

健康な人は軽症で回復しますが、乳幼児や高齢者は重症化し

治療

現在、このウイルスに効果がある薬はありません。そのため、治療は吐き気止めや整腸剤、輸液などによる対症療法に限られます。家庭では、人肌に温めた経口補水液やスポーツドリンクが推奨されています。特に体力の弱い乳幼児や高齢者は、脱水症状を引き起こしやすいため、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。

どのような時に感染するのか

主に手指や食品などを介して、口の中からノロウイルスが入り感染します。日常生活において代表的な例を3つあげてみました。

例1 二枚貝（カキなど）を、

生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合。

例2 家庭や共同生活施設など

ノロウイルス感染者の糞便や吐物から感染する場合。

例3 食品取扱者（食品の製造・

調理従事者、家庭内での調理者）が感染しており、

その者を介して、汚染した食品を食べた場合などがあります。

予防・対策

加熱が必要な食品は中心部までしっかりと加熱しましょう（中心部が85度～90度で、90秒以上の加熱が望まれます）。

手洗いも有効です。調理を行う前、食事前、トイレ後は必ず手洗いを行いましょう。また、ノロウイルスはアルコール消毒が無効とされています。ノロウイルス感染者の吐物や糞便には大量のウイルスが存在するため、次亜塩素酸を使った適切な処理が必要です。詳しくは医療機関まで問い合わせください。

疑わしい症状がある時

吐き気、嘔吐、下痢、腹痛があり、二枚貝を食べた、または身近に同じような症状の人がいる時は、かかりつけ医にご相談ください。



お知らせ

インフルエンザ予防接種を行っています。

事前に問い合わせください。

【問合せ】小城市市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>